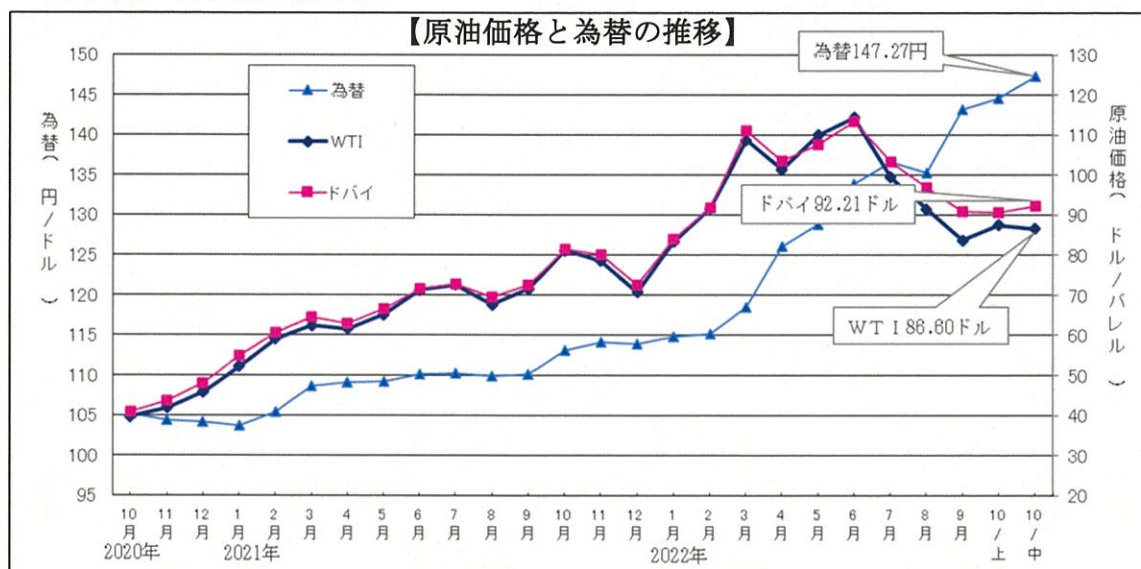


1. 教えて！石油情勢

(1) 原油価格動向

- ア. 9月、WTI原油先物価格は、中国での「ゼロコロナ政策」にもとづく行動制限や、欧米各国によるインフレ対応の利上げの動きにより、世界経済の減速懸念が強まり、一時70ドル台後半に下落しました。
- イ. 10月、石油輸出国機構（OPEC）にロシア等非加盟国を加えたOPECプラスが11月生産量を日量200万バレル縮小する決定をしたことや、欧州連合（EU）がロシア産原油価格に上限を設ける新たな経済制裁を設定したことなどの需給逼迫懸念から上昇し、80ドル台半ばで推移しています。
- ウ. 10月の為替は、米長期金利上昇による日米金利差の拡大により一時およそ32年ぶりの円安水準となる150円の大台を更新しました。
- エ. 今後の原油価格の変動要因としては、①物価高騰に対する各国の利上げの動き、②主要産油国の原油供給状況、③原油消費大国である中国のゼロコロナ政策の動向等が考えられます。



<用語の解説>

- バレル…原油や石油製品の国際的な計量単位。1バレルは約159リットル。
- OPEC…サウジアラビアやイラクなどの主要原油産出国が原油の供給量を調整し、原油価格を安定させるために設けた機関。

(2) 小売価格動向

- ア. 10月24日時点のレギュラー全国平均価格は169.2円（新潟165.9円）となっています。
- イ. なお、小売価格は政府が実施する「燃料油価格激変緩和対策事業」の補助（1Lあたりおよそ35円）により上昇が抑えられています。

※掲載内容の無断使用・転載を禁じます。

2. 灯油の配送予約を受付中！

J Aのガソリンスタンド・燃料センターでは、灯油の配送予約を受付しております。ご希望どおりに配達ができるよう、早期のご注文やホームタンクの事前点検等、お早目の準備をお願いします。詳しくはお近くのJ Aのガソリンスタンドや燃料センターまでお問い合わせください。



3. 知ってる？軽油はもっと安くなる！！！！

(1) 免税軽油とは？

バス、トラック、ダンプカー、乗用車などの燃料である軽油には、1リットルにつき、32.1円の軽油引取税（地方税）が加算されています。

この軽油引取税が法令で定められた一定の要件の下で免除された軽油のことを「免税軽油」といいます。

(2) 対象となる軽油

農作業において農業用機械^{※1}に使用する軽油が対象です。なお、農業だけでなく、林業や漁業などで使用する軽油（法令に規定された特定の用途に使用するための軽油）も課税が免除されます。

※¹ 耕うん整地用機械、栽培管理用機械、収穫調整用機械、植物繊維用機械及び畜産用機械等

(3) 対象者

ア. ご自身で農業を営む方

イ. 農作業受託^{※2}で基幹的な作業の全てを受託する方

※² 農作業受託（稲作）の例

耕起、代かき、植付、刈取、脱穀等の作業で機械を使う作業の全ての委託を受けていること。（一部作業の委託の場合は対象となりません）

(4) 来年度の免税証の交付申請

J Aのガソリンスタンド・燃料センターでは、免税軽油のご相談を承ります。11月から順次、来年度の申請受付を開始しておりますのでお早目の申請をお願いいたします。

なお、受付開始時期や必要書類は、J Aによって異なりますので、詳しくは、お近くのガソリンスタンド・燃料センターまでお問い合わせください。

（石油事業部）